

職務経歴書

2024年 9月 14日現在
氏名：川辺洋平

職務経歴概要
新卒で株式会社電通に入社。3年間プロジェクトマネージャーとして勤務後、Twitter日本法人の立ち上げのため電通・デジタルガレージ・ADKのジョイント・ベンチャーに2年出向。電通帰任後、コピーライター兼プランナーとして勤務し、広告賞を受賞のち2012年に退職。同年から2年間、小学館グループでデジタルコンテンツ制作を専門とする新会社の立ち上げに執行役員として従事。2014年より、企業のデジタルコンテンツ制作を企画・運営する株式会社アールを代表取締役として立ち上げ10年間経営。2013年に同会社を解散し、2024年1月より本田技研工業の経営企画室・クリエイティブソリューションセンターに勤務。現在に至る。

職歴①			
会社名	株式会社電通	勤務地	東京
在籍期間	2007年 4月 ～ 2012年 8月	役職/担当	プロジェクトマネージャー
業務内容			
入社後3年間は、WEB、モバイルアプリ、サイネージなどのオンライン企業発信ツールの企画・制作・運営に従事。ファストリテイリング、サントリー、イオン、ミツカン、東芝などを国内大手企業を40社以上担当。その後、電通ほか2社のジョイントベンチャーに出向し、Twitter日本法人の立ち上げに企画・広報担当として従事。帰任後は電通のデジタル領域を専門とする部署で、ソーシャルメディアを活用した企業広告を企画。コピーライター兼プランナーとして、複数の広告賞を受賞。			
業務経験			
<ul style="list-style-type: none">日本企業のグローバル訴求支援 企業発信ツールの企画・制作・運営においては、顧客調査からアクセスデータ分析までを広く担当。事例としては、2010年のファストリテイリングとの業務が挙げられる。この事例では、ヒートテック製品の海外展開を目的とし、機能の体感ができるオンラインキャンペーンを全世界同時展開した。具体的にはニューヨークの街中に、巨大な試着ブースを設置。試着前後のサーモグラフィを撮影し、オンラインに投稿できるイベントを実施。その後、サイトを見た全世界の試着希望者に、サンプル製品を海外送付して、そのリアクションもオンラインで発信できる仕組みを構築した。この事例はリアルな体験と、オンラインでの疑似体験を結んだキャンペーンとして、東京インタラクティブ・アド・アワードで銀賞を受賞した。海外企業の日本法人設立 Twitter日本法人の立ち上げにおいては、Twitterの株主でもあった伊藤穰一が取締役を務めるデジタルガレージおよび、電通の競合他社でもあるADKの社員とともに、電通が立ち上げたジョイントベンチャーでTwitterの日本における法人化を推進した。具体的には、サービスの日本語化、日本のモバイル環境へのローカライズ、サービスマニュアルの作成から、爆弾予告などに対する警察対応、さらにTwitterというサービス自体の認知がない中での広報活動などに従事した。業務においては常に、サンフランシスコのTwitter本社エンジニアとやりとりし、グローバルな環境で、言語の違いや時差を超えて取り組んだ。利用者数は出向時の300倍以上となる2000万人を超え、広く社会に認知されるソーシャルメディアとしての立ち位置を確立した。モバイルアプリを活用したシステム構築 企業のコミュニケーションにソーシャルメディアを活用する戦略立案・企画運用の依頼を多く担当した中で、事例としてはBEAMSの35周年キャンペーンの企画運営が挙げられる。このキャンペーンでは、制作会社と協力し、BEAMS独自のモバイルアプリを制作。街中ですれ違う利用者同士をファッションなどの相性でマッチングできる仕組みを構築した。アプリ利用者のBEAMSに対するエンゲージメントを高める施策として、BEAMS店舗を訪れると、アプリ利用者同士が送り合えるスタンプを用意。結果的に来店利用者の昨年比35%増に貢献した。また、このアプリケーションの開発を通じ、Yahoo Japan クリエイティブアワードでは銅賞を受賞した。			

職歴②			
会社名	株式会社小学館(旧：グレイプス株式会社)	勤務地	東京
在籍期間	2012年 9 月 ～ 2014 年 3 月	役職/担当	執行役員
業務内容			
前職での成果を知る小学館の取締役から誘いを受け、小学館の新会社として、デジタルコンテンツの企画・制作を一元集約する関連会社の立ち上げを実行した。会社の立ち上げ後すぐに、オンラインサービスの立ち上げを担当し、制作会社とともにサービスインを経験した。			
業務経験			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 新会社設立 小学館の関連会社、グレイプスは2012年に小学館取締役、および小学館社内のデジタルコンテンツ企画部、および中途採用の私をメンバーとして設立された。設立にあたっては紙メディアの衰退により、出版社の編集リソースに余裕が生まれたという背景がある。その人的リソースを活用した新たなマーケットとしてデジタルコンテンツの企画・制作を実行する別組織を立ち上げる必要があり、執行役員として事業計画段階から事業開発までを担った。 ・ オンラインサービス開発 具体的には小学館社内で運用していたオンラインメディア（WEBマガジンなど）のデータ分析からスタートし、最終的にはオンラインで作品を発表しているクリエイターと、プロフェッショナル編集者をマッチングするオンラインサービス「Mochicomi」を企画・公開・運営した。サービス立ち上げと共に、小学館の意向によりビジネスモデルが大きく変化し、立ち上げたサービスの継続運営は叶わなかったものの、事業戦略から、具体的なサービスインまでを経験する貴重な業務推進となった。 			

職歴③			
会社名	株式会社アール	勤務地	東京
在籍期間	2014年 3 月 ～ 2023 年 12 月	役職/担当	代表取締役
業務内容			
前職（職歴②）で担当していたデジタルコンテンツに関する業務を譲り受け起業した。企業のオウンドメディア企画・運営を皮切りに、ブランディングや広告のクリエイティブディレクション、ビジネスコンサルティングへと業務の幅を広げた。			
業務経験			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 海外企業との取引 受託案件として、小学館グループだけでなく、10年間で70社近い企業との取引をし、すべての業務で折衝および納品までの業務推進を担当した。とりわけ、Meta社(旧Facebook Inc.)からのInstagram 日本語公式アカウント運用業務や、国際オリンピック組織委員会との発信コンサルティング契約では、世界各地の様々な人種の英語が飛び交う環境で業務推進を経験した。 ・ 自動車会社とのメディア運営 モビリティカンパニーのSUBARUとは、長年にわたってオウンドメディアの編集執筆および運用業務を通じて、お客様目線で製品価値を届けるための様々な企画を実施した。業務を通じて、モビリティのもつ魅力や、CASEと呼ばれる社会の変化を受けつつあるモビリティ市場そのもののダイナミックな動きを実感する業務経験となった。 ・ 中小企業経営コンサルティング 国内外の多くの企業との取引を通じて深めた経営への理解を活かし、制作業務で関わりの長かった中小企業への経営コンサルティングを行った。具体的には経営会議のための資料作成や、経営者の考えを社員に伝えるツール開発、および組織改革や人材採用に関する相談への対応など幅広く助言とサポートを実行した。 			

職歴④			
会社名	本田技研工業株式会社	勤務地	東京
在籍期間	2024年 1 月 ～ 現職	役職/担当	主任
業務内容			
前職で経験した自動車マーケットのダイナミズムに深い関心を持ち、自動車会社の社員として、経営企画にたずさわりたいという思いからHondaに入社。電気自動車や、水素エネルギーの技術訴求戦略の立案をプロジェクトマネージャーとして推進している。その他、過去の経営経験から管理職候補者への研修開発および社内講師としての活動も担当している。			
業務経験			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 電気自動車の北米市場における訴求戦略立案（社外秘） ・ 水素エネルギー事業における訴求戦略立案（社外秘） ・ 管理職候補者へのビジネス研修開発・実行（社外秘） 			

以上